

腎臓がん摘出手術終了

岡山医療センター カンボジア男児

歩いて手術室に向かうマカラ君 17日午前10時
37分



国立病院機構岡山医療センター（岡山市北区田益）

で治療を続けるという。手術は小児外科のチーム

7人が担当。午前11時21分

から2時間で終わった。摘

出した右の腎臓と腫瘍は合

わせて約850㍉、直径15

㍉ほどだった。

マカラ君は手術後、一般

病棟へ戻った。同センターは、組織検査の結果を踏まえ、化学療法を行うかなど今後の治療方針を決めるといふ。

手術後に対面した父親のドオオン・キムセンさん（30）は「手術を受けさせることができ、先生方に感謝したい」と言い、執刀した青山興司名誉院長（72）は「非常にスムーズに終わり、ほっとしている」と話した。

5月にカンボジアでマカラ君を診た国際医療団体ジャパンハート（東京）代表の吉岡秀人医師（49）が幼児に多いがんの一種「腎芽腫」と診断。すぐに治療すれば救命できると判断し、これまでも連携してきたNPO法人中国四国小児外科医療支援機構（事務局・岡山医療センター）に協力を依頼した。マカラ君は15日に来日した。（伊丹友香）